



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 メディアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-3242-3154
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	54,335	△1.1	193	△67.0	294	△59.1	224	△37.2
2020年6月期第1四半期	54,918	23.5	587	—	720	—	356	504.0

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 297百万円(△42.5%) 2020年6月期第1四半期 516百万円(245.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	10.28	10.27
2020年6月期第1四半期	16.38	16.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	75,556	13,865	18.4
2020年6月期	69,970	13,873	19.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 13,865百万円 2020年6月期 13,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,260	8.5	700	△36.4	1,160	△27.4	780	△18.0	35.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年6月期の連結業績予想は、通期業績予想のみの開示といたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期1Q	21,789,724株	2020年6月期	21,789,724株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	958株	2020年6月期	958株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期1Q	21,788,766株	2020年6月期1Q	21,788,791株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費・企業活動が停滞し、経済活動再開の動きが見られるものの、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、政府による医療提供体制の強化として新型コロナウイルス感染症患者受入病院に対する診療報酬の引き上げ、交付金、融資制度の拡充が行われたものの、各医療機関においては、患者の受診抑制、緊急性の低い手術の延期等の影響が長期化しており、経営状況は厳しい状況が続いております。治療や服薬の中断により状態が悪化する患者の例も報告されていることから、オンライン診療の普及を図っていく旨が政府の方針にも盛り込まれており、かかりつけ医制度の整備と併せて取り組みが進められております。

医療機器販売業界におきましては、診療報酬改定による医療材料の販売価格下落の影響が強まる一方で、医療機関の経営改善や効率化に貢献しうる複合的なサービスの提供が求められる状況となっており、こうした背景からM&Aや業務提携等による事業の拡大や営業体制の強化を目指す動きが活発化しております。

このような経営環境の下、当社グループは医療機関の医療体制維持のため、不足する製品の調達と供給を優先し、全社員で感染拡大防止に努めていく方針として事業活動に取り組んでおります。(株)アクティブメディカルとの経営統合による業績への寄与及び消耗品の販売推進の成果は出ているものの、医療機関における手術症例の減少による手術室関連製品の販売減少に加え、昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減による備品販売の不調により、全体としては減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は54,335百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業利益は193百万円(同67.0%減)、経常利益は294百万円(同59.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は224百万円(同37.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による手術症例の減少の影響があったものの、SPDや新規顧客の獲得、営業拠点の新設による販売増加及び、(株)アクティブメディカルとの経営統合により、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましては、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の案件があったものの、昨年の消費税増税前の特需の反動減の影響が大きく、全体として低調に推移しました。

この結果、売上高は53,088百万円(前年同四半期比1.1%減)、売上総利益は5,150百万円(同0.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、1,440百万円(同25.5%減)となりました。

(注) SPD

Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおきましては、連結子会社である協和医科器械(株)・(株)栗原医科器械店・(株)秋田医科器械店・(株)ミタス・メディアスソリューション(株)及び持分法非適用の関連会社である(株)エヌエイチエス静岡が行っております。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業及び、介護施設向けの消耗品販売が好調に推移し、前年同四半期と比較して売上高及び売上総利益は増加いたしました。

この結果、売上高は1,247百万円(前年同四半期比0.5%増)、売上総利益は497百万円(同13.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、150百万円(同55.3%増)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業…… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から5,585百万円増加し、75,556百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から5,369百万円増加し、62,411百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,897百万円、受取手形及び売掛金が2,588百万円、商品及び製品が618百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から216百万円増加し、13,145百万円となりました。これは主に投資その他の資産が199百万円増加したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から5,593百万円増加し、61,691百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から5,818百万円増加し、55,617百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,203百万円、短期借入金が5,014百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から224百万円減少し、6,073百万円となりました。これは主に長期借入金227百万円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から7百万円減少し、13,865百万円となりました。これは主に利益剰余金が80百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が69百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表しました連結業績予想に変更はありません。また、通期業績予想のみの開示といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,487,653	10,385,115
受取手形及び売掛金	37,212,772	39,801,517
商品及び製品	9,097,900	9,716,773
原材料及び貯蔵品	18,031	11,941
その他	2,294,242	2,558,667
貸倒引当金	△69,001	△62,857
流動資産合計	57,041,599	62,411,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,691,247	1,685,828
土地	2,036,992	2,036,992
その他（純額）	311,676	341,343
有形固定資産合計	4,039,915	4,064,163
無形固定資産		
のれん	1,390,826	1,353,308
その他	936,714	966,537
無形固定資産合計	2,327,541	2,319,846
投資その他の資産		
その他	7,379,978	7,565,169
貸倒引当金	△818,064	△803,470
投資その他の資産合計	6,561,913	6,761,698
固定資産合計	12,929,370	13,145,707
資産合計	69,970,969	75,556,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,632,216	41,836,177
短期借入金	5,496,864	10,511,664
未払法人税等	416,940	167,464
賞与引当金	51,812	610,925
株式報酬引当金	—	35,685
その他	3,201,311	2,455,902
流動負債合計	49,799,145	55,617,819
固定負債		
長期借入金	3,808,384	3,580,480
債務保証損失引当金	117,863	114,577
退職給付に係る負債	1,233,339	1,251,532
資産除去債務	39,873	39,921
株式報酬引当金	31,539	—
その他	1,067,641	1,087,261
固定負債合計	6,298,640	6,073,773
負債合計	56,097,786	61,691,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,285,270	1,285,270
資本剰余金	2,611,508	2,611,508
利益剰余金	8,439,362	8,358,491
自己株式	△450	△450
株主資本合計	12,335,691	12,254,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,625,272	1,694,411
退職給付に係る調整累計額	△87,779	△83,957
その他の包括利益累計額合計	1,537,492	1,610,453
純資産合計	13,873,183	13,865,273
負債純資産合計	69,970,969	75,556,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	54,918,016	54,335,681
売上原価	49,371,109	48,687,221
売上総利益	5,546,906	5,648,460
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△5,329	△8,032
株式報酬引当金繰入額	3,648	6,882
給料及び手当	1,989,350	2,306,523
賞与引当金繰入額	536,514	576,653
退職給付費用	104,963	112,683
法定福利費	385,993	438,961
減価償却費	99,985	105,285
賃借料	385,135	450,099
業務委託費	510,829	456,430
その他	948,268	1,008,993
販売費及び一般管理費合計	4,959,359	5,454,481
営業利益	587,547	193,978
営業外収益		
受取利息	329	1,147
受取配当金	9,309	8,585
仕入割引	88,347	79,007
持分法による投資利益	20,017	—
債務保証損失引当金戻入額	—	3,285
その他	31,550	29,370
営業外収益合計	149,554	121,395
営業外費用		
支払利息	10,640	13,037
持分法による投資損失	—	1,085
債務保証損失引当金繰入額	1,551	—
その他	4,419	6,743
営業外費用合計	16,611	20,865
経常利益	720,489	294,508
特別利益		
固定資産売却益	1,433	3,194
補助金収入	—	63,681
特別利益合計	1,433	66,875
特別損失		
固定資産除却損	256	4
関係会社株式売却損	16,408	—
特別損失合計	16,664	4
税金等調整前四半期純利益	705,258	361,378
法人税、住民税及び事業税	447,596	172,704
法人税等調整額	△99,288	△35,496
法人税等合計	348,308	137,207
四半期純利益	356,950	224,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,950	224,171

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	356,950	224,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155,574	69,138
退職給付に係る調整額	4,440	3,822
その他の包括利益合計	160,014	72,960
四半期包括利益	516,964	297,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516,964	297,132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,676,077	1,241,938	54,918,016	—	54,918,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	199	199	△199	—
計	53,676,077	1,242,138	54,918,215	△199	54,918,016
セグメント利益	1,933,392	96,742	2,030,135	△1,442,588	587,547

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,442,588千円には、セグメント間取引消去2,887千円、のれん償却額△4,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,440,675千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である(株)栗原医療器械店がアイテックスメディカル(株)の株式を取得し、連結子会社化としたことに伴い、のれんの金額が94,436千円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,088,127	1,247,554	54,335,681	—	54,335,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	53,088,127	1,247,554	54,335,681	—	54,335,681
セグメント利益	1,440,704	150,287	1,590,992	△1,397,013	193,978

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,397,013千円には、セグメント間取引消去4,986千円、のれん償却額△48,567千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,353,431千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。